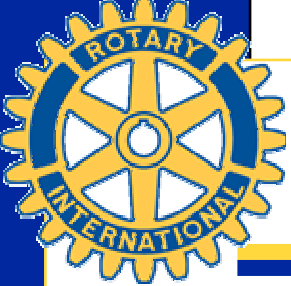


行動広報: ITの活用

2005年7月9日(土)於:京都新聞

地区広報・雑誌・(IT)委員長会議

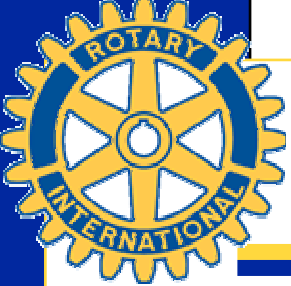
地区副委員長IT担当:志村 修 制作



ネットの利用は伸びている

総務省の05年度版情報通信に関する現状報告によると...

- インターネットの1日平均利用時間は37分、新聞の31分を初めて上回った。
- 日本のネット利用人口は7948万人、普及率は62%、うちブロードバンド(高速大容量)62%
- ニュースを見るのに、トップはテレビ84%、次いでネット67%、新聞は62%
- インターネットは情報収集に不可欠な手段

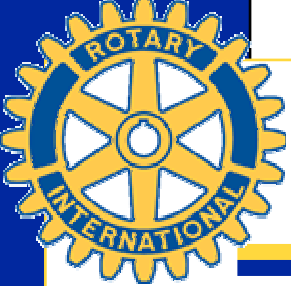


2000年から始まったIT化

2000 - 2001 RI会長フランク・デブリンによってロータリーのIT化が始まった。

2650地区においてもインターネット委員会を設置、4年間でクラブネット通信網100%を達成。

本年度は広報のひとつの手段としてインターネットの活用が望まれている。



情報源 (インターネットHP)

4つの情報源を、広報活動に活かしてください。

- RIのウェブサイト(英語版・日本語版)

<http://www.rotary.org/languages/japanese/index.html>

- RJWのウェブサイト(日本語版)

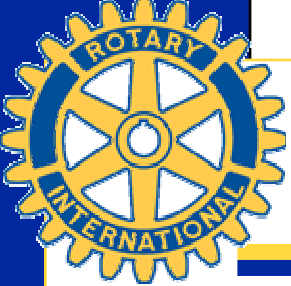
<http://www.rotary.or.jp/>

- ロータリーの友ウェブサイト

<http://www.rotary-no-tomo.jp/>

- 2650地区のウェブサイト

<http://rid2650.gr.jp/>



RIのウェブサイト

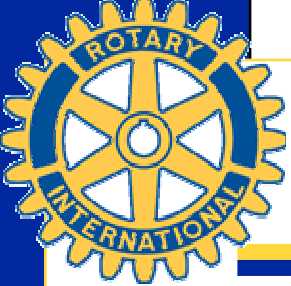
国際ロータリーは、広報の研修資料や、ロータリー推進のための広報資料を提供している。これらダウンロードセンターから入手できる。

広報の研修資料

- 広報：あなたに最も適した方法で！（ビデオ、269-JA）
- 地域別 情報資料集（389-JA）
- PR Tips（隔週のEメールのニュースレター）

広報の材料

- ロータリー情報資料集（267-JA）
 - 公共奉仕アナウンスメント（放送）（印刷、ラジオ、ビデオ版）
 - ロータリーとは（001-JA）
- [実際のHPを見てみましょう](#)

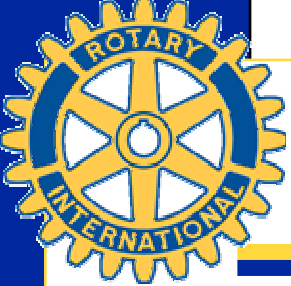


RJWのウェブサイト

RJWとはロータリー・ジャパン・ウェブの略でRIより公式の言語別ウェブサイトとして2001年2月の理事会において承認されております。

RIのウェブサイトは全世界に向けた、いわゆるコアインフォメーションですが、RJWは主に日本語に限定してのロータリアン向けに情報発信しています。

実際の画面

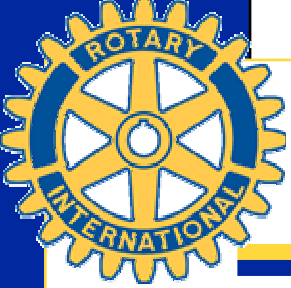


ロータリーの友ウェブサイト

ロータリーの友も雑誌と並行して、ウェブサイトを開設しています。

メールによる投稿なども受け付けています。

実際の画面

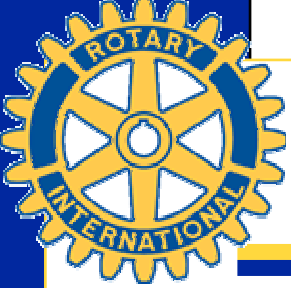


2650地区ウェブサイト

国際ロータリー2650地区は、広報用に活用できる各種材料も提供している。これらの情報源には、以下のようなものがある。

- ガバナー月信ダイジェスト版
- ニュースリリース
- ダウンロードセンター
- 例会変更情報
- クラブ事業報告

[地区ウェブサイトへ](#)



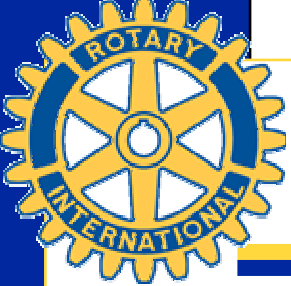
IT広報の利点

ITの活用で広報は、以下のメリットがある。

- 速報性がある
- 経費節約に繋がる
- 自らが情報発信できる
- 双方向性がある

2004年規定審議委員
会でインターネット上の
eclubへの参加もメー
キヤップとして認められ
ました。

- 反面、セキュリティやウイルス問題など
マイナス面も有ることを認識する

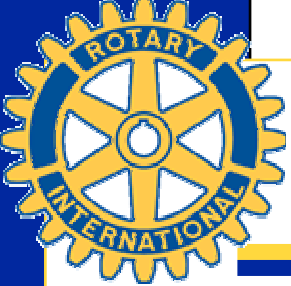


パソコンのセキュリティ

ウイルスや迷惑メールなど多くの危機にさらされている。
自らが安全対策を講じる必要がある。

事務局のパソコンにウイルス対策ソフトは絶対必要！！

- セキュリティ対策ソフトを導入する(ウイルスバスターノートンマカフィー等、
市販価格5000～8000円)
- プロバイダーが行っているセキュリティサービスを使う
- ファイヤーウォール対策(不正進入をブロック)
- ルーターを使用する
- Windows Update で最新の状態に保つ(自動更新)で脆弱性をカバーする

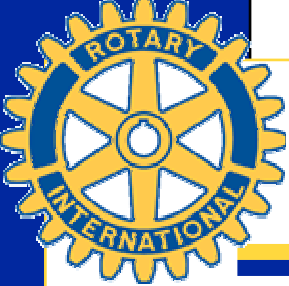


フィッシング詐欺対策

フィッシング詐欺とは、実在の銀行・クレジットカード会社やショッピングサイトなどを装ったメールを送付し、そこにリンクを貼り付けて、その銀行・ショッピングサイトにそっくりな「罠のサイト」に呼び込み、クレジットカード番号やパスワードなどを入力させてそれを入手してしまうという詐欺です。

1. 怪しいサイトには近づかない
2. 不正利用がないか、クレジットカードの利用明細や口座残高を常に把握しておく
3. 個人情報や安易に入力したり、見覚えのないメールに返信したりしない。

[参考画面](#)



Httpsと鍵マークのチェック

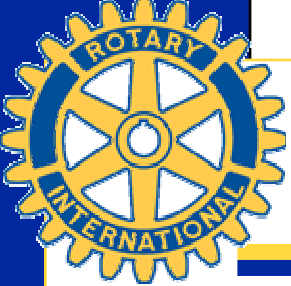


SSLという暗号化されたページは
httpsとなっていることを確認する。



SSLの暗号化されている場合は
右のような「錠前」マークが表示される。
これをWクリックして内容の確認をする。





おわりに...

世界各国ではインターネット上で結成されている「eクラブ」も複数存在しています。

もちろん顔を合わせたの例会がロータリーの基本であることは言うまでもありませんが、

時代の流れと言いますか、未来へのひとつの進む方向であるような気がいたします。

最近のRI会長の方針には必ずと言っていいほど、「広報に力をいれよ」との文言があります。

特にインターネットを有効活用して広報としてのホームページ公開を推奨しています。

RIからのメッセージはどこよりも早くインターネットを通じて公開されています。

ロータリークラブにおけるインターネットの役割はますます大きくなっていくでしょう。

これからもクラブの活性化には欠かせないIT化を通じて、地区委員会としてお手伝いさせて頂ければと思っております。